

事故事例連絡書(再発防止行動)

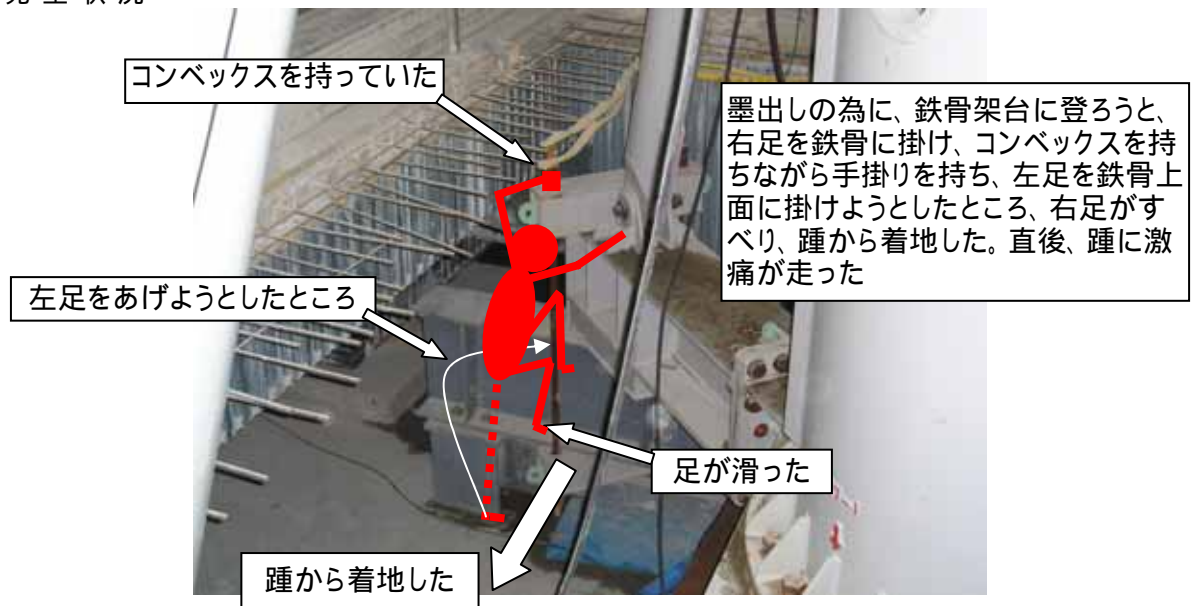
毎日のお仕事お疲れ様です。

日頃より、皆さん方には環境の厳しい中をご苦労いただいております。

安全の基本は、自らの技能を磨き続けて、自分の身は自分で守るということにあります。特に、近年は現場の災害も不安全行動が原因となっているものがほとんどです。仕事の節目節目には1人KYを実施して、危険を排除してから仕事を行ってください。今回、下記の通り、災害が発生しました。会社として、対策と再発防止行動をまとめましたので、各現場とも安全には十分に留意して、不安全行動を防止してください。

1 発生状況

- 1 発生日時 平成20年4月14日(月) 午前10:00頃 天候:晴れ
- 2 発生場所 新築工事 における 型枠工事
- 3 被災者 氏名:渡辺幸一さん 年齢:40歳 性別:男 経験:25年 作業所勤務:230日 職種:型枠大工
- 4 雇用関係 雇用会社:フォービル(1次)
- 5 傷病 右足踵骨骨折 休業見込:60日
- 6 発生状況



2 発生の要因

- 1 ながら作業 手にコンベックスを持ちながら昇降作業を行った。
- 2 昇降設備 昇降台などを確保しなかった
- 3 足元の状態 当該作業前に水たまりを踏み足元が濡れていた。
- 4 1人KY 不十分！鉄骨塗装面が滑りやすいことは十分に予測できた。
- 5 体調・体力 年齢も40歳と若く問題はなかった。本人も体力の低下は感じていなかった。
- 6 靴の状態 安全靴を履いていた。靴底面の状況は滑り止め溝もあり問題はなかった。
- 7 予定外作業 当日は塔屋の建込作業を行う予定も、鉄筋組の為にダメ仕事を行った。

3 対策

- 1 ながら作業 階段以外(タラップ・立馬・低障害物)の昇降について、道具を持ちながらの昇降はしない。
- 2 昇降設備 足元が悪い場合は脚立・踏み台など適切な昇降設備を設けて使用する。
- 3 足元の状態 鉄骨塗装面を足掛けにする場合は、靴底の水分を飛ばす行動を取る。
- 4 1人KY 作業単位で区切り、1人KYを行い危険を排除する。

4 再発防止行動

- 1 災害事例 本報告書を災害事例として全員に周知する。
- 2 昇降設備 足元が悪い場合は脚立・踏み台など適切な昇降設備を設けて使用するよう指導する。
- 3 ながら作業 各現場の職長より、KYミーティングの折に、「ながら作業」の排除を指導する。
- 4 足元の状態 足元が悪い場合は、滑りにくい姿勢を取り、滑った場合でも身の安全を確保できるようにする。
- 5 靴の状態 朝礼時は折々に靴底を点検し、滑り止めの状態を確認する。

平成20年4月17日

〒535-0005 大阪市旭区赤川2丁目2番23号

株式会社フォービル

代表取締役 森本隆之